



平成24年5月18日

私たち、そして研究者には何ができるのか？～震災・ 原発事故から考える 日本認知心理学会主催 特別講演・特別 シンポジウムのご案内（入場無料・一般公開）

東日本大震災、原発事故を目の当たりにし、誰もが自分がなすべきことを考え、それと同時に自らの限界を感じている方も多いと思います。今回、日本認知心理学会の年次大会が岡山大学で行われ、そこにおいて、これからの社会のありかたについて、特別講演と特別シンポジウムが開催されることになりました。

特別講演、特別シンポジウムのどちらも一般公開で、参加費は無料ですので、ふるってご参加ください。

日時： 平成24年6月2日（土） [受付12:30より]
会場： 岡山大学津島キャンパス 創立五十周年記念館

◆特別講演：13:00～14:30

「地震・津波・原発, そして教育 ～私たちにできること～」

■講師：高嶋哲夫先生

岡山県玉野市生まれ。日本原子力研究所（現・日本原子力研究開発機構）を経て作家に。研究員時代に原子力学会技術賞、小説でサントリーミステリー大賞、小説現代推理新人賞、北日本文学賞など受賞。

※高嶋哲夫先生には、引き続き下記シンポジウムでもコメンテーターとしてご登壇いただきます



◆特別シンポジウム：15:00～17:00

「"サービス"に対するアカデミズムの役割」

■内容：最近「独創的なサービスを！」という声をビジネスの分野でよく耳にします。一方、公的分野でも既に大小様々なサービスが展開されており、原発もその一つです。ところが、それらはそれぞれ限られた領域で【コマ】のように独立し、相互に影響力を行使できないしくみになっています。それに対して、学術が核となり、一見関係のないサービスをつなぎ、融合・拡張することで、新たな人の欲求を生み出すシステムが生まれています。その最新の事例を紹介します。ビジネスや社会とつながる新しいアカデミズムの可能性を感じてもらえると思います。

＜お問い合わせ先＞

日本認知心理学会第10回大会事務局（寺澤研究室）

■住所：〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院教育学研究科内

■TEL：090-2285-7381（坂本） FAX：086-251-7755（教育学部共用）

■E-Mail：cogpsy10@cc.okayama-u.ac.jp

主催：日本認知心理学会

共催：岡山大学、科学研究費補助金基盤研究A「縦断的大規模調査法を基礎とした因果推定研究の創出」

後援：岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、山陽新聞社、大学コンソーシアム岡山